

Peppolが輝かせる「主役」たち ～ミラボ、デジタルインボイスの「自分ごと」化～

2026年4月7日、デジタル庁は、株式会社ミラボとの間で、政府調達システム（GEPS）に対するデジタルインボイスでの請求について「振り返り」を行いました。

株式会社ミラボは、ガバメントクラウドに係るGCAS開発業務をサポートしており、その請求について、同社が利用する株式会社マネーフォワードが提供するサービスである「マネーフォワード クラウド請求書」からGEPSに対して、デジタルインボイスで請求を行いました。

Money Forward クラウド請求書



株式会社ミラボ 坂井氏

「振り返り」では、坂井氏から「デジタル庁から支援いただき、一連の流れを無事に完了することができた。GEPSへの情報登録等、初回対応として試行錯誤はあったものの、ポイントを確認しながら進めたことで理解も深まり、今後はよりスムーズに対応できる見通しを持つことができた」との感想がありました。

そのうえで、坂井氏から「今回、デジタル庁からデジタルインボイスでの請求の要望を受けて送信した。同様に、他社からデジタルインボイスでの請求を求められる可能性もあるため、今回の経験は有意義かつ今後に活かせるものであった」との評価が示されました。

